

クールジャパン戦略官民協働イニシアティブ

- クールジャパン戦略の深化を目的に、本年1月より、官民メンバー参加の下、「クールジャパン戦略推進会議」を開催。
- 「クールジャパン戦略深化のための5つの視点」に基づき、「民間の取組モデル」と「政府の今後の取組」を取りまとめ。

クールジャパン戦略深化のための5つの視点

1. 様々な取組に横串を刺し、デザイン視点での編集によって魅力を高める。
2. 官民の活動を俯瞰し、相互に連携させる。
3. 世界中から日本に人材を引きつける「人材ハブ」を構築する。
4. 日本の魅力を外国人目線で再編集し、外国人と協働して発信・展開する。
5. 地方の魅力を、海外で受け容れられるようにプロデュースする。

クールジャパン戦略深化のための 民間と政府の取組

民間の4つの取組モデル -プロジェクトアイデア-

政府の支援も活用しつつ、民間において以下のプロジェクトが具体化されることを期待

- デザイン分野** 海外のデザイン人材を取り込むため、「デザインラボ/スクール」を設立する。
- コンテンツ分野** 音楽業界一体となった海外進出を後押しする「エージェント組織」及びコンテンツ利活用の拠点を設立する。
- 食分野** 「食の大学院」や「重点都市拠点」等の設立を通じ、日本食の魅力を発信するシステムを構築する。
- 地方・観光分野** 地方の魅力を発掘・磨き上げを行う「ローカル・クールジャパン・プロデュース事業」体制を設立する。

政府の5つの横断的取組 -アクションプラン-

1. 官民連携プロジェクトを組成するため、「官民連携プラットフォーム」を創設する。
2. 各分野の「人材・情報の集積・発信拠点」の構築を目指す民間の取組を、政府が連携して支援する。
3. 日本ファンの「外国人などをアンバサダー」としてネットワーク化する。
4. ジェトロ等や地方自治体と連携し、地方における「クールジャパン相談窓口」を整備する。
5. 「地域プロデューサー」をリスト化し、地方に情報提供する。

※上記を含め、「情報発信」、「海外展開」、「インバウンド振興」、「地方の魅力を発掘・発信」に係る合計32の取組を実施。

デザイン分野 - 民間の取組モデル -

デザインラボ/スクール

○世界最高水準のデザインラボ/スクールの設立を通じて、日本・東京を世界のデザインハブに

世界の先端的デザイン人材を
海外・国内から招へい。
英語で研究プロジェクト・
教育プログラムを実施

日本が優位性を持つ分野
(例: 材料、バイオ、ロボティクスなど)を
中心に、様々な大学・民間企業との
協業を促進。
産業のイノベーション加速の
起爆剤とする

当初は「ラボ」として
迅速に立ち上げ、
世界にアピールできる
実績づくりに注力。
中長期で、産業界に
デザイン高度人材を供給する
大学院へと進化を図る



photo by Dan Ruscoe "Robotic Arm Lifting Dice" <https://flic.kr/p/deHTEb>

J-POPエージェント組織・映像コンテンツ見放題の拠点

- 音楽業界一体となった海外進出を後押しする、**J-POP海外エージェント組織**の設立
- 映像コンテンツ見放題の**拠点構築**

J-POPエージェント組織①

- ・海外主要市場に拠点を設立。
現地メディアやスポンサーとの
関係構築を通じて、
様々なアーティストの現地での
プロモーションやライブイベントの
実施を支援

J-POPエージェント組織②

- ・他分野(アニメやファッション等)
との連携を含め、
イベントの集客力向上や
機材輸送の一元化による
コスト削減を実現

映像コンテンツ見放題の拠点

- ・アニメなど過去の
映像作品のアーカイブを整備し、
訪問者が自由に閲覧できる
拠点を構築
(竹芝地区の国家戦略特区を活用)



東京スカパラダイスオーケストラ JAPAN NIGHT in Jakarta @ The Kasablanka 2015年4月4日



竹芝国家戦略特区CIPロゴ

食分野 - 民間の取組モデル -

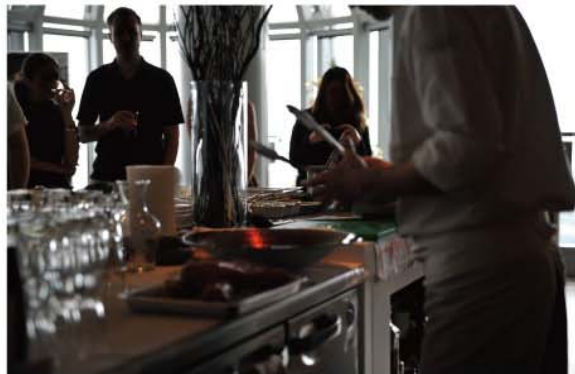
食の大学院・海外都市のマルシェ

○国内の「食の大学院」、海外の「重点都市拠点」等の設立を通じ、
日本食の魅力を国内外に発信し続けるシステムを構築する。

日本食の情報発信の
拠点として、
東京に「食の大学院」を設立

日本各地で開催される
収穫祭等のイベントを集約した
「ジャパンハーベストウィーク」を
秋に東京で実施、観光イベント化

海外の重点都市に、
フードコートやマルシェ等、
日本食普及のための拠点を設立。
現地でのフードサービス展開の
物流機能、インバウンド誘客の
拠点としても活用



地方・観光分野 -民間の取組モデル-

ローカル・クールジャパン・プロデュース事業

○海外需要開拓を目指した地域資源のプロデュースを総合的に行う
「ローカル・クールジャパン・プロデュース事業」の設立

ローカル・クールジャパンの
プロデュース事業を
「産官学民金」の連携で設立、
国内外の専門人材
ネットワークを構築

地域資源の開拓・キュレーション、
情報発信、海外展開支援を行う

政府の関連施策
(ビジット・ジャパン、
日本食・食文化の魅力発信事業、
クリエイティブ産業振興事業等)との
連携により展開力を強化

【地方に眠る魅力を活用した例】和傘の技術を照明器具に応用



写真提供:元氣ジャパン



写真提供:日吉屋



写真提供:日吉屋

LOCAL

「クールジャパン戦略推進会議」構成員

政府メンバー

- 山口 俊一：クールジャパン戦略担当大臣<座長>
- 平 将明：クールジャパン戦略担当副大臣<副座長>
- 世耕 弘成：内閣官房副長官
- 総務省、外務省、財務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省の副大臣
- 松本 洋平：クールジャパン戦略担当大臣政務官
- 平田 竹男：内閣官房 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室長（内閣官房参与）

民間有識者

- アストリッド クライン：建築家
- 生駒 芳子：ファッション・ジャーナリスト／
公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団 理事
- 梅澤 高明：A.T. カーニー 日本法人会長
- 大石 征裕：一般社団法人日本音楽制作者連盟 理事長
- 亀井 智英：Tokyo Otaku Mode Inc. 共同創業者/CEO
- 楠本 修二郎：カフェ・カンパニー(株) 代表取締役社長
- 佐浦 弘一：浦霞醸造元 (株)佐浦 代表取締役社長／
日本酒造組合中央会 理事 需要開発委員長
- 高島 宗一郎：福岡市長

- 高橋 智隆：(株)ロボ・ガレージ 代表取締役
- 高橋 広行：(株)ジェイティービー 代表取締役社長
- 田川 欣哉：takram design engineering 代表
- ダニー チュー：カルチャー・ジャパン プロデューサー
- 玉沖 仁美：(株)紡 代表取締役
- テイト クリストファー：コネクトフリー(株)
代表取締役総合開発責任者兼CEO
- トム ヴィンセント：(株)Tonoloop Networks 代表取締役
- 中川 悠介：アソビシステム(株) 代表取締役社長
- 中村 伊知哉：慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授
- 夏野 剛：慶應義塾大学政策・メディア研究科 特別招聘教授
- 福原 秀己：エース・プロダクション プロデューサー
- 宮河 恭夫：(株)サンライズ 代表取締役社長
- 渡邊 賢一：一般社団法人元気ジャパン ソーシャル・プロデューサー

関係機関

- 太田 伸之：(株)海外需要開拓支援機構(クールジャパン機構)
代表取締役社長
- 浜野 京：独立行政法人日本貿易振興機構 理事